

TR3-G001B 人数カウント機能の仕様変更について

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、当社では、ゲートアンテナシステム「TR3-G001B」の人数カウント機能の仕様変更を実施いたします。
 この仕様変更により、入出判断モード「ON/OFF」の違いによる人数カウント値の差異が解消され、ユーザー様にはより快適にご利用いただけるものと存じます。

何卒、諸状況をご賢察賜り、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

敬具

記

■ 変更内容

従来は、入出判断モードが「OFF」の場合、赤外線センサーの遮蔽回数を上位側へ送信し、デモソフト上に人数カウント値として、そのまま表示する仕様でした。今回の仕様変更で、入出判断モードが「OFF」の場合でも、「ON」の時と同じ仕様でカウントするようになりますので、タグ読取り有効時間(※)内であれば、何度、赤外線センサーを遮蔽しても1カウントと判断いたします。

EEPROM の設定		変更項目	変更前	変更後 (=入出判断モード「ON」)
入出判断モード「OFF」 (EEPROM メモリスイッチ 6)		カウント動作	赤外線センサーを遮蔽回数毎に1カウントする	赤外線センサーを何回遮蔽しても、タグ読取りの有効時間(※)内であれば、1カウントとする
入出センサーの使用モード (EEPROM メモリスイッチ 4)	通過用	カウント値	遮蔽のタイミング(2本の足が別々に遮蔽するなど)によっては1往復で2~4カウントの誤差が生じる	タグ読取り有効時間(※)内の遮蔽であれば、1往復で「入側」「出側」ともに2カウントする
	入出用			タグの読取り有効時間(※)内の遮蔽であれば、1往復で「入側」と「出側」それぞれ1カウントする

(※)EEPROM メモリスイッチ 4 にて設定可能

■ 変更実施時期

2009年5月受注分より

以上